

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理細胞検査学実習	2年次	必修	実習	1単位（45時間）	小菅 優子 ※
授 業 概 要					
<p>病理組織標本作製過程である臓器の切り出し、パラフィン包埋、薄切の実技を身に付ける。一般的な病理組織染色法（H・E染色）と各種特殊染色法の実技を身に付け、顕微鏡観察できるようになることを目的とする。また、凍結切片作製法、免疫組織化学的検査法、細胞診検査法を理解する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屠場ブタ臓器を用いて、切り出し、固定、パラフィン包埋ができる。</li> <li>・パラフィン切片をマイクロトームで薄切できる。</li> <li>・一般的な病理組織標本（H・E染色）を作成できる。</li> <li>・各種特殊染色標本を作成できる。</li> <li>・作製した標本を顕微鏡で観察し、染色結果の判定ができる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	切り出し、固定法				小菅 優子 ※ 竹内 法子
2	パラフィン包埋法				
3-5	パラフィン切片薄切法				小菅 優子 ※
6-8	一般的染色法：ヘマトキシリン・エオジン染色、染色標本の評価				
9-12	特殊染色－1：結合組織の染色、酸性粘液多糖類の染色、糖原の染色				加藤 法男 ※
13-16	特殊染色－2：組織内無機物の染色、神経組織の染色				
17-19	凍結切片作製法、免疫組織化学染色				
20-23	細胞診検査法				
学 習 方 法					
<p>事前に教科書及び配付資料を読んでおくと、理解が一層深まる。また、本実習は各項目の知識・技術を積み重ねて修得する必要があるため、事前説明に遅刻や実習を欠席した場合などは以降の実習の出席を認めないことがある。なお、欠席の場合は事前に科目担当者に了承を得る必要があり、無断で欠席した場合は以降の出席を認めないことがある。</p>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習修了試験＜実技試験を含む＞（70％）及び実習ノート＜課題標本＞（30％）により評価する。</li> <li>・レポートはレポート評価基準に従い評価し、これを満たさない場合は評価しない。</li> <li>・再試験ではレポートの再評価はしない。</li> <li>・やむを得ない事由による欠席の場合は、補習実習を行うことがある。</li> </ul>					
先 修 科 目					
解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、病理学					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版株式会社</p> <p>〔参考書〕 月刊 MEDICAL TECHNOLOGY別冊 最新染色法のすべて 水口 國雄 他 医歯薬出版株式会社</p>					